

## ～各時代の文化財を多く残す～ 鶴林寺

聖徳太子が仏教を広めるための道場として建てられました。

平安時代の壁画が見つかった県下最古の木造建築物、国宝「太子堂」や、泥棒が盗み出し壊そうとしたら「アイタタ」という声が聞こえてきたため、改心したと伝えられている「銅造聖観音立像（あいたた観音）」など、多くの文化財が残されています。

戦国時代には周辺寺院が戦に巻き込まれるなか、寺領差し出しにより戦火を免れました。

各時代の文化財を残しているところは数少なく、歴代文化を後世に知らせるお寺として親しまれています。



新薬師堂の裏手に「特攻隊之碑」があります。軍の指定旅館であった、中村家旅館（加古川町寺家町）に宿泊した特攻隊員たちは出撃前夜、旅館に遺書を託して旅立っていきました。

その魂を偲び旅館に碑が建てられていましたが、2001年（平13）に旅館の廃業に伴い、鶴林寺の新薬師堂の裏手に移されました。



特攻隊之碑の右手前にある「不開の門跡（あかずのもんあと）」十二歳の聖徳太子が恵便法師を招いて仏教の修学に励んだ「木の丸殿」の門が、ここにあったと伝えられています。

「聖徳太子十二歳像」



境内裏手にある庭は、桜や新緑、池には水浴びをする水鳥と、暖かな日差しのもと、季節を感じながらゆったりと散策が楽しめます。



チェック!

ふりきる門のすぐ南の茂みの中に、緒方洪庵の門下生で、コレラの治療制圧に大きな功績を残した尾上町安田出身の医師「梅谷慊堂洞雲」の墓碑があります。

鶴林寺に数ある文化財の中でも“知る人ぞ知る”のものなんです。また、境内には遊歩道が整備されているので歩きやすくなっています。是非お越しください。

茂渡俊慶 住職

## 春の陽気に誘われて～ぶらり散歩、加古川寺社めぐり～

加古川市内には歴史が長く、そして自然に囲まれた寺社が点在しています。本堂・本殿での参拝以外にも、境内を隅々まで見てまわると、あまり知られていない文化財も残されています。自然に囲まれた寺社を巡り、歴史と自然を感じてみませんか。数ある寺社のなかから所をピックアップ、その他にも下記一覧の寺社などたくさんあります。一度訪れてみてはいかがでしょうか。



〈加古川市の主な神社・寺など〉

① 観音寺(志方城跡)	志方町志方町 720	戦国時代の軍師 黒田官兵衛の妻・光(てる)が生まれた櫛橋家の居城志方城があった場所。
② 安楽寺	志方町細工所 631	城山のふもとにあり、十王堂の地獄極楽絵図と十王像は迫力がある。
③ 宗佐の厄神さん	八幡町野村 580	2月18・19日厄除大祭には、毎年多くの参拝者が訪れる。
④ 平之荘神社	平荘町山角 478	毎年2月に地元小学生が狂言を演じる築300年を超える能舞台がある。
⑤ 天下原の毘沙門さん	東神吉町天下原	境内からは東神吉の町並みが一望できる。
⑥ 神吉の常楽寺(神吉城跡)	東神吉町神吉 1413	もともと神吉城があった所。境内には神吉城主だった神吉頼定のお墓があります。
⑦ 春日神社	加古川町本町	境内にある丸亀神社の赤い壁は通称「赤壁さん」と呼ばれ印象的。
⑧ 称名寺(加古川城跡)	加古川町本町 313	秋に境内を黄金色に染めるイチョウは、写真スポットとしても有名。
⑨ 五社宮(野口神社)	野口町野口 326	比叡山延暦寺の守護神日吉大社から分霊をお迎えし、のちに四柱の神を合わせ祀ったという説も。
⑩ 尾上神社	尾上町長田 518	境内には謡曲「高砂」に謡われた相生霊松「尾上の松」がある。
⑪ 宝蔵寺	別府町本町 1-23	日本最古(明治19年)のオリーブの木が境内にあります。